

行事名称	第109回技術者倫理研究会 例会
開催日時	2024年1月23日（火曜日）18:30～20:30
開催場所	Web中継、各地域本部等
主催	公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 engineeringethics-studygroup
参加者	全国で135名参加(うち北陸本部参加者15名)
演題	技術者倫理の実践（続）
講師	橋本 義平氏（情報工学）
講演資料	あり
内容	<p>技術者倫理の第一人者のお一人で、技術者倫理研究会代表・橋本義平技術士よりご講演いただきました。</p> <p><概要> 『人は技術者倫理を学ぶという。知の力が無ければわからないことが世の中には沢山あるから学ぶことは大事だ。ある事象を本当に分かるには、それは痛みを伴って認識することでようやく身につくから事例を学ぶことも必要だ。しかし、それらが人の信念とならなければ先には進めない。私たち技術者にとって技術者倫理は、公衆や社会から信頼される拠り所である。組織（職場）全体を健全なものにするという信念を同僚たちと共に持つことこそ大事なのだ。それを技術者倫理の実践と題して共に考えてみる。』</p> <p>という内容での講演があった。</p>
所感	<p>技術者倫理の第一人者のお話で、日本における技術者倫理綱領の動きに始まり、従業員、集団思考、企業(組織)、経営者と技術者、倫理教育の目的、技術者倫理の実践、企業倫理との相似等、大変幅広い講師のご経験に基づいたお話で、判り易く、有意義な講習会であった。</p> <p>特に技術者は技術専門職の担い手であるという認識と自負によって同僚や社会の見方を変える事ができるとして「力量のある技術者」…説明責任を回避しないという点について、考えさせられた。</p>
記入者：2024. 1. 31 倫理委員会 阿部治彦	